

どんぐり村の こみ・すく通信

令和3年5月10日発行 第3号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第1回コミュニティ・スクール 委員会 学校運営協議会後に

学校運営協議会の後に開催されたコミュニティ・スクール委員会では、宿田委員長が選出されました。委員は以下のとおりです。

【更別村コミュニティ・スクール委員会委員名簿】

委員長	宿田 一步	更別中央中学校運営協議会代表
委員	今井 智裕	更別小学校運営協議会代表
	田中 直幸	上更別小学校運営協議会代表
	栗原 賢次	更別小学校長
	阿部 英一	上更別小学校長
	竹田 義隆	更別中央中学校長
	霜野 敬夫	更別村社会教育委員の会委員長
	森田 知子	更別村社会教育委員の会副委員長
	石川 亮	更別村子育て応援課長
	小林 浩二	更別村教育委員会教育次長
	宝輪 祐子	更別村コミュニティ・スクール コーディネーター

【敬称略】

各運営協議会の報告の後、事務局から今後の委員会の取組として、以下の4つの重点が提示されました。



(1)「更別村CSアクションプラン」 重点を絞って具体的な取組を行う

○心：思いやりのある子ども 体：健康で元気な子ども に向けて、インターネット使用にかかわって熟議する。

(2)更別村の小中学校の連携「どんぐり村子ども会議」の継続

○「インターネットとの付き合い方」「いじめをなくそう宣言」について協議を進める。

(3)コミュニティ・スクールに関する周知及び理解促進

○「こみ・すく通信」の発行、ホームページへの掲載など、広報活動の充実を図る。

(4)更別村学校・地域による協働組織「みんなの学校応援団」への協力依頼
○みんなの学校応援団と学校との連携をしっかりととっていく。また、子どもたちへの応援メッセージを募集する。

【特にCSアクションプランの重点について】 インターネット使用にかかわって

「体 健康で元気な子」・・・子どもの生活にネット機器が入り込み、長時間使用による心身の発達に悪影響を及ぼす可能性が指摘されている。心身ともに健康で過ごしていくためのルールづくりを考えていく。

「心 思いやりのある子ども」・・・インターネットは便利である反面、いろいろな危険をはらんでいる。家庭や地域でもその危険性や実態を把握し、どう対応していくかを考えたい。また、子どもは、ネット上で友だち等と交流をするとき、相手への思いやりをもって接しているか。アンケートや他の事例をもとに、ネットトラブルに陥らないための方法を考えていく。

アンケートを取り、実態を把握する

更別村の子どもたちのネットゲーム機器やスマホ等の所持率、使い方はどうなのか、健康状態はどうなのか、ネットでのトラブルはないのか等、実態を把握する。



【提示したアンケートの内容についての熟議】

各学校運営協議会からの意見も含め、「アンケートの対象を小学3年生から中3まで」「平日ばかりではなく、土日のネットの使用時間を尋ねる」など、多くのご意見をいただきました。それらの意見をもとに、再度アンケートを作成し、6月～7月に子どもたちを対象にアンケートを取ります。実態をまとめ、それらをもとに大人ばかりでなく、子どもたちも熟議していくこととなります。